

もくじ

特集  
尾道を愛した作家 林芙美子 3

尾道市の財政状況をお知らせします 6

くらしの窓 10  
証明発行手数料のキャッシュレス決済開始 他

健康・福祉 14  
65歳以上の人へインフルエンザ予防接種開始 他

子育て 17  
妊婦支援金の申請をお忘れなく/消防車写生大会 他

スポーツ 19  
サンフレッチェ広島ファミリーサッカー教室 他

芸術・文化 20  
和作忌協賛街頭展/尾道の美展 2020 他

情報アラカルト 22  
令和3年尾道成人式/駐車場指定管理者募集 他

相談 30

人の動き [9月29日現在] ※ ( )内は前月比。

世帯 64,741世帯 (-47)  
人口 男性 65,327人 (-80)  
女性 69,421人 (-53)  
計 134,748人 (-133)

市内の交通事故 [9月29日現在] 令和2年広島県 交通安全年間スローガン あおるより ゆるるあなたが かつこい	今月の納期限 11/2月)
件数 123件 (-53) 負傷者 147人 (-63) 死者 2人 (+2) ※ ( )内は前年比。	市県民税 ③ 国民健康保険料 ④ 介護保険料 ④ 後期高齢者医療保険料 ④

今月の表紙

秋晴れの日曜日、かき氷が人気の喫茶店に向かって歩くお2人の傍らに佇む石碑は、作家・林芙美子がかつて住んだ場所であることを伝えています。約100年前、ここ尾道で過ごした足跡が身近に残っているものの、意外と知らない林芙美子について、今月の特集で紹介いたします。

尾道市役所 0848-38-9111	百島支所 0848-73-2701
因島総合支所 0845-22-1311	浦崎支所 0848-73-2001
御調支所 0848-76-2111	消防局 0848-55-9120
向島支所 0848-44-0110	尾道市立市民病院 0848-47-1155
瀬戸田支所 0845-27-2211	公立みつぎ総合病院 0848-76-1111

## 祝ご長寿

今年度100歳に到達する2人を訪問しました。



今年度に市内で100歳以上になるのは、9月1日現在で182人(男性20人、女性162人)です。皆さん、おめでとうございます。

### 金永ナラエさん =御調町=

御調町生まれで、38歳のときご主人を亡くされてからはお勤めや農業をしながら、5人の子を育てました。元気の秘訣は「明るく朗らかに生きること」で、「家族の支えがあって元気に暮らしています。」と、自分の言葉でしっかりと話されていました。

### 岩本正二さん =向島町=

向東町に生まれ、若い頃は福井県で仕事をしていましたが、約10年前に向島に戻り、現在は息子さん夫婦と同居しています。現在も教会で牧師をしており、「真面目である」ということを大切に、日々新しいことを学ぶことに喜びを感じておられるそうです。



## トピックス-Topics-

### 因島総合支所 グランドオープン

因島総合支所庁舎整備事業がすべて終了し、9月1日、グランドオープンしました。

昨年9月から新庁舎で業務を開始していましたが、その後も旧庁舎解体、来庁者駐車場、芝生広場などの整備を行っていました。

新しく整備した庁舎では、海に面した屋外休憩所や芝生広場など、来庁した人がゆったりと過ごすことができるようになっています。



■ 支援事業、新型コロナウイルスに関する情報等については、市ホームページをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ (関連情報まとめ) [検索](#)



■ 広報おのみち10月号に掲載の行事については、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、縮小・中止の可能性があります。事前に主催者にお問い合わせの上、ご参加ください。

# 特集 尾道を愛した作家 林芙美子



## 放浪と文学の人生

林芙美子は、1903(明治36)年、九州の門司で生まれました。幼少の頃から両親と共に各地を渡り歩きながら、1916(大正5)年、13歳の時に一家で辿り着いた港町尾道に落ち着きました。

### 多感な少女時代を過ごした尾道

尾道では、尾道第二尋常小学校(現在の土堂小学校)に2年遅れで編入し、卒業後は周囲の支援もあり、尾道高等女学校(現在の尾道東高等学校)に進学しました。この時期、読書に熱中し、また地元新聞などに投稿するなど、後の作家としての礎を築いていきました。

### 東京へ、そして流行作家に

女学校を卒業した芙美子は、作家か画家になりたいという夢を持ち一人、尾道から東京に向かいました。様々な職業につきながら貧しくもたくましく執筆を続け、1930(昭和5)年に刊行した『放浪記』が大ベストセラーとなり、一躍流行作家となりました。その後も、『浮雲』など数々のヒット作を世に送り出しましたが、1951(昭和26)年、心臓麻痺のためわずか47歳で生涯を閉じました。死の数時間前まで取材をしており、最後まで作家として駆け抜けた人生でした。



尾道ゆかりの作家、林芙美子にまつわる品々を展示する「おのみち林芙美子記念館」が、今年9月20日、尾道本通り商店街にリニューアルオープンしました。記念館では、自筆原稿や実際に使っていた日用品、文豪との書簡など、芙美子の息遣いを感じることもできる貴重な資料が展示されています。

今月の特集では、流行作家として明治・大正・昭和を駆け抜けた芙美子と、尾道との関わりについて、展示内容を通して紹介します。

■ 文化振興課 ☎0848-2017514